

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

明礬石及珪酸礬土鑛〔粘土を含む〕を主要原料としてアルミナを製造する方法(9年特許公告第1331號、公告9-4-9、東京市、牛田包美) 本邦及滿鮮地方に比較的豊富に産出し價格低廉なる明礬石及珪酸礬土鑛〔粘土を含む〕を主要原料とし明礬石の含有するアルカリ分を有效化し之を處理反應に與からしむることにより原料中に含有する珪酸量に依る全損失に充當せしめ以て製産費を低下して經濟的に且平易に高級アルミナを製出し併せて副生成物を利用及回收する目的を以て細粉狀明礬石及珪酸礬土鑛〔粘土を含む〕を主要原料とし之に明礬石中の全硫酸根を還元するに相當する量の4量の炭素末を混和して700乃至800°Cの溫度にて焙燒し其生成物に所要量の炭酸石灰或は生石灰及アルカリ分も混和し再び1,000乃至1,200°Cの溫度にて煨燒し冷却後粉末と爲し之を比較的少量の冷水を以て浸出することを特徴とし濾別して得たるアルミ酸アルカリ水溶液に炭酸瓦斯を吹込むことにより或は既製水酸化アルミニウムを所謂シードとして混入し之を懸濁攪拌することにより水酸化アルミニウムを沈澱せしめ濾別し得たる沈澱物を充分水洗し乾燥後煨燒することより成る明礬石及珪酸礬土鑛〔粘土を含む〕を主要原料としてアルミナを製する方法。

醸造用珪瑯引タンク等の燒成窯の燒成物取出時に於ける窯内熱度低下防止方法(9年特許公告第1345號、公告9-4-9、東京市、大谷信助) 燒成窯の扉を上下數個に分離し更に其の適當位置に運搬機挿入窓を設け燒成後燒成物の搬出に當り先づ扉を上部のものより順次に開放し速かに搬出することにより燒成物取出前に窯内に冷空氣の進入するを可及的阻止し殊に入口下部よりの進入を防止し以て最初より全部の扉を開放する從來方法に於けるが如き窯内熱度の低下を防止し燃料の經濟を圖ると共に燒成物の部分的冷却を可及的阻止し製品の不均等歪曲等を防遏し且取出を簡易ならしめんとする目的を以て燒成窯の扉を上下各別々に閉閉し得べき適宜數個に分離し更に其の適當位置に運搬機挿入窓を設け而して燒成物を取出す場合先づ運搬機挿入窓を開き之より運搬機を窯内に押進して之に燒成物を載置し然る後扉を上部のものより順次に開き最後に下部のものを開放して燒成物を窯外に搬出することより成る醸造用珪瑯引タンク等の燒成物取出時に於ける窯内熱度低下防止方法。

タンタラム或はニオブウムの炭化物を含める工具用合金(9年特許公告第1359號、公告9-4-9、米國フアンステール・プロダクツ、コムパニー・インコーポレーテッド) 普通の工具用合金に依りて加工すること困難なる高き硬度の金屬材料に容易に加工することを得べく且高速度を以てする切削操作に於て切屑の固着に原因する過度の磨耗(蝕耗)を來たさざる新規の工具用合金を設けんとする目的を以てTa又はNbの炭化物と該炭化Ta又は炭化Nbの外に重量に依る3%乃至15%のNiを含有するを特徴とする硬質強靱の工具用合金。

爐用自動給炭機の改良(9年特許公告第1592號、公告9-4-11、英國、アルフレッド、ウイリアム、ペンニス) 匙機構を作動するに要する推進力を減少せしめ從て緩衝機構の關する力を減少して之により衝擊を減じ作用を迅速ならしむる爲匙機構の重量を減少せしめ更に匙が過熱されることを防止せんとする目的を以て、自動給炭機に於て互に連結せる自由端を備へたる管狀側腕を有し之により一側腕の樞着端迄連續空氣通路を生ずる燃料推進匙。

チタニウム顔料製造法(9年特許公告第1399號、公告9-4-11、堺市、山本久夫) 副生せらるるBaCl₂を復利用する事によりて頗る經濟的にTiS₂より誘導される優良Ti顔料を生成せしめんと同時に優良なるBaSO₄を副成せしめんとする目的を以てTiSO₄にBaCl₂を加へてBaSO₄の沈澱とTiCl₄溶液とを生成せしむる工程と斯くして得たるTiCl₄溶液にBaSO₄を加へてBaCl₂の溶液と主としてTiS₂よりなる沈澱とを形成せしめ其の主としてTiSO₄より成る沈澱は之を洗滌乾燥加熱してTi顔料となし又副生せられたるBaCl₂溶液は之を第一工程に添加のBaCl₂として復使用する工程との結合を特徴とするTi顔料の製造方法。

吸収し得べき縫合及結紮材料(9年特許公告第1405號公告9-4-13、獨國、バルンハルト、ブルーメンタール他一名) 極めて良好なる外科用の吸収し得べき縫合及結紮材料を得んとする目的を以てMg或はMg合金の細き線より成る吸収し得べき縫合及結紮材料。

旋盤(9年特許公告第1435號、公告9-4-13、獨國、マグデブルゲル、ウエルクツオイグ、マシネンファブリック、アクチエンゲゼルシャフト) 削片は旋盤の臺に衝りて下方の蒐集器に集り少しも散亂することなく從て何等の危險もなく運轉せらるる此種旋盤を得んとする目的を以て削片の通過區域外に於て斷面三角形なる臺の外側上を誘導せられ且つ下向の切刃を有する工具を備へたる滑り子を水面上に對し傾斜せしめて設け以て下向に搖動しつつ流出する削片をして前記三角形臺の傾斜面に向ひ大體直角に衝突せしめて其運動エネルギーを消滅せしめ之を蒐集器に向ひ偏流せしむべくしたるを特徴とする高速度を以て強力に削截する旋盤。

小空氣磁路誘導電氣爐(9年特許公告第1441號、公告9-4-16、東京市、田窪彦一) 電磁極によりて生ずる磁束に對する空氣磁路を可及的小となし以て爐の力率及能率を可良ならしめんとする目的を以て多相交流電原による各相間に一定の電磁極と磁路を設けたる回轉磁場内に熔解室を設け此室内に在る金屬を本磁場の爲に起る誘導電流により起る熱によりて熔解する爐に於て電磁極の先端と熔解室の間に磁性耐火物又は磁鐵鑛の層を置きて空氣磁路を短縮する事の特徴とする小空氣磁路誘導電氣爐。

粉末分離機(9年特許公告第1470號、公告9-4-16、大阪市、細川永一) 調節鈹の調節により分離粉體の疎密を隨意に加減し得べき粉末分離機を得んとする目的を以て機胴の下部に圓錐狀部を設け更に給氣管を該部に於て給氣が上向運動すべく開口せしめ尙該給氣管の開口端の上方に中央に開口を有する漏斗狀の調節鈹を設けて給氣を二分流に分割して上昇せしめ該鈹を前記の圓錐狀部に於て昇降せしむることにより該二分流の比を自在に變更し得る如くなしたるを特徴とする粉末分離機。

亞鉛鍍金工業に於て産出するザルアムニアック、スキニング処理方法(9年特許公告第1479號、公告9-4-18東京市、岡江義彦) 廉價のザルアムニアック、スキニングに含有する主成分を簡易なる操作により利用せんとする目的を以てザルアムニアック、スキニングに鹽素酸加里、次亞鹽素酸曹達漂白粉の如き酸化劑を加へて焙燒し揮發瓦斯を採取することを特徴とするザルアムニアック、スキニングの處理方法。

表面層噴射鍍金法(9年特許公告第1489號、公告9-4-18、東京市、江澤謙二郎) 從來の噴射鍍金の缺點を刈除し最も有效なる

方法により簡易確實に緻密均質なる被覆金屬層を得むとする目的を以て噴射鍍金法に依り金屬被覆層を形成するに當り Ar 又は Ar を基礎とする合金の噴射に際し生成せらるる噴霧狀微粒子の保有する熱竝に該微粒子の衝擊作用により豫め被鍍金體に噴射被着せしめられたる Pb、Sn の如き易銲融性基礎鍍金層の表面上を加熱と同時に鍛冶しつつ之に壓入固着せしめて表面層を形成し以て緻密にして且均質なる基礎金屬被覆層を生成せしむることを特徴とする表面層噴射鍍金法。

鋼焼入用冷却液 (9年特許公告第 1500 號、公告 9-4-18、東京市、高橋源助) 各種鋼の焼入作業に於て冷却速度の調節を容易ならしむると共に焼入中鋼材面への汚物の附着を防止し焼入効果を確實ならしめんとする目的を以て炭酸曹達の水溶液と珪酸曹達の水溶液との混和液より成る鋼焼入用冷却液。

金屬の熱處理方法 (9年特許公告第 1503 號、公告 9-4-18、東京市、野澤房敏) 水の激烈なる熱處理効果を緩和し微粒化せられたる水分子にて處理材全面に均齊に熱處理を加へ焼入焼戻の二行程を行ふことなく一行程にて最も適切なる熱處理効果を附與せしむる目的を以て、脂肪油又は鐵油に豫め一定量の無機鹽、無機鹽基、有機酸(アルコール)類、蛋白質ペクチン質、スルホン化油、石鹼、糖蜜、テルペン油、樹油脂木タール等の如きものを乳化補助劑として單一に或は二つ以上混合又は結合せしめたるものを其儘又は水に溶解して加へ前記の混合油を水と混合してエマルジョン状態の熱處理用冷却液を作りたることを特徴とし前記冷却液により處理材に熱處理を行ふべくしたる金屬の熱處理法。

クロム鍍金用迴轉ドラム (9年特許公告第 1555 號、公告 9-4-23、東京市、合資會社宮田製作所) 在來の掛吊方法による Cr 鍍金の煩雜なる手数を省き且つ一回の操作によりて多數の鍍金を行ひ得る極めて至便なる Cr 鍍金に適する迴轉ドラムを得んとする目的を以て普通使用せらるる迴轉鍍金用ドラムと略同一構造のドラムを純 Cr を以て構成し之が内壁面を電解液中にて電氣化學的陽極處理に依り不均等なる無數の突起を有する海綿狀の粗面となしたることを特徴とする Cr 鍍金用迴轉ドラム。

珪瑯釉藥製造法 (9年特許公告第 1571 號、公告 9-4-23、大阪市、香月錠之助) 光澤、機械的強度、金屬との密着性及耐酸性に於て遙に優越し而も安價なる珪瑯釉藥を得んとする目的を以て珪瑯釉藥原料に岩石學上に謂ふ玄武岩、安山岩又は前記岩石の加熱物を全原料の 7 乃至 50% 硼酸又は硼砂或は兩者を全原料の零乃至 20% 混合使用することを特徴とする珪瑯釉藥製造法。

珪瑯製造法 (9年特許公告第 1572 號、公告 9-4-23、大阪市、香月錠之助) 釉藥の光澤、機械的強度、金屬との密着性及耐酸性に於て遙に優越し而も安價なる珪瑯を得んとする目的を以て釉藥原料に岩石學上に謂ふ黑耀岩、眞珠岩、浮石、凝灰岩、火山灰及び上記岩石の加熱物の内一種又は二種以上を全量の 7 乃至 50% 硼酸硼砂の内一種又は兩種を全量の零乃至 20% 混合して調製されたる釉藥を金屬素地に施し焼成することを特徴とする珪瑯製造法。

Ni、Al、及 Co を含有する磁石鋼 (9年特許公告第 1582 號、公告 9-4-25、東京市、三島徳七) 磁性竝加工性優秀なる磁石鋼を供する目的を以て Ni 5 乃至 40%、Al 1 乃至 2%、Co 0.5% 以下殘部 Fe 及不純物を含有することを特徴とする磁石鋼。

Ni、Al 及 Mn を含有する磁石鋼 (9年特許公告第 1583 號、公告 9-4-25、東京市、三島徳七) 磁性竝加工性優秀なる磁石鋼を供する目的を以て Ni 5 乃至 40%、Al 1 乃至 20%、Mn 0.5% 以

下殘部 Fe 及不純物を含有することを特徴とする磁石鋼。

Ni、Al 及 W を含有する磁石鋼 (9年特許公告第 1584 號、公告 9-4-25、東京市、三島徳七) 磁性竝加工性優秀なる磁石鋼を供する目的を以て Ni 5 乃至 40%、Al 1 乃至 20%、W 0.5% 以下殘部 Fe 及不純物を含有する磁石鋼。

Ni、Al、Cr、及 Co を含有する磁石鋼 (9年特許公告第 1585 號、公告 9-4-25、東京市、三島徳七) 磁性加工性及防蝕性優秀なる磁石鋼を供する目的を以て Al 1 乃至 20%、Ni 5 乃至 40%、Cr 4.99% 以下 Co 40% 以下殘部 Fe 及不純物(但し Al 1 乃至 15%、Ni 5 乃至 30%、Cr 1 乃至 4.99%、Co 0.5 乃至 40% 殘部 Fe の範圍を除く)を含有することを特徴とする磁石鋼。

Al 又は Mg 或は是等を成分とする合金の防錆並に裝飾處理方法 (9年特許公告第 1629 號、公告 9-4-30、仙臺市、金屬材料研究所長) 金屬又は合金製品の耐久性を増大し其の品質を高めんとする目的を以てオキシンの適當なる水溶液自身又は是にタンニン酸の如き收斂劑或は適當なる金屬を附加したる溶液中に目的物を浸漬し加熱することに依り目的物の表面に容易に剝離し難き防錆兼裝飾的の被膜を形成せしむる事を特徴とする Mg 又は Al 或は是等を成分とする合金の防錆並に裝飾處理方法。

密封せる金屬製函罐又は類似容器的の改良 (9年特許公告第 1644 號、公告 9-4-30、瑞典國、アクチエボラーゲット、トランシトリヤ) 開披に當りて函の蓋を開くべき部材を其取付部より緩ましむることなく而も開披のため開口をも一層容易になし得る目的を以て罐結弁の如き密閉せる金屬製函の壁の一外側に銲接其他に依りて開披部材を取付け該部材に近き壁の一部を屈曲することに依りて該壁の裂開を行はしむる銲器に於て補強部材 (g) を函壁の内部開披部材と壁外側とを連結する部分の下部に設くる如くなし該補強部材は之と單一片より構成し且つ開披部材の把手と分離して位置せしめ而も該補強部材の全長の硬剛性を開披操作中之が屈曲を來すことなき程度とし以て函壁中該補強部材の被覆を受くる部分の屈曲及裂開を來さしめざるも函壁を補強部材のみ側方に於て屈曲し得しむることを特徴とする裂開装置。

空洞部を有する金屬製反射鏡の製造方法 (9年特許公告第 1655 號、公告 9-5-2、東京市、溝尻房藏) 空洞部を有する反射鏡を容易に形成して材料を節約し充分に補強せられ屈撓歪形することなく而も輕量なる金屬製反射鏡を廉價に製作せんとする目的を以て必要なる形態を有する鏡用硝子又は鏡用金屬を原型となし硝子原型に於ては金屬面上に樹脂等を塗布したる後其表面に化學的方法により鍍銀して鏡面を製し其上に電氣鍍金法により銅眞鍮等の金屬層を電着せしめ鏡面殻皮を作りたる後其表面を低温にて熔融する物質例へばパラフィン樹脂等の如きものにして被膜し尋で其物質の表面に黒鉛又は金屬粉を塗布して電導性を與へ更に此上に電氣鍍金法によりて銅眞鍮等の金屬層を形成することにより之が鏡面殻皮と其周縁に於て連結して一體ならしめたる鏡殻を作り之を原型より剝離し加熱によりて鏡殻の内部を満す低温熔融物質を熔融して外部に排出せしめて得べき空洞部を有する金屬製反射鏡の製造方法。

銅合金 (9年特許公告第 1688 號、公告 9-5-4、大阪市、住友伸銅管株式會社) 耐蝕性大にして強硬なる Cu 合金を得んとする目的を以て Zn 5 乃至 40%、Si 0.05 乃至 5%、Al 0.1 乃至 7%、As 0.01 乃至 0.10%、P 0.01 乃至 0.5% 及殘部 Cu を含有する耐蝕性大にして強力なる Cu 合金。

鐵管鑄造裝置 (9年特許第 1694 號、公告 9-5-4、大阪市、

久保田權四郎) 各部均齊なる厚さを有する優良なる鐵管を容易に得んとする目的を以て鑄造せんとする鐵管と略等しき長さを有し且前記鐵管の各部分に相當する湯を滿し得る桶狀湯溜を水平に裝置したる廻轉鑄型内に挿入し得べく裝置し該湯溜を鑄型に挿入したる位置に於て之に湯を注入したる後湯溜を顛倒せしめて所定の高速度にて廻轉する鑄型内に湯を流込みて鐵管の鑄造を行ふべくなしたる鐵管鑄造裝置。

可銻斷路器 (9年特許公告第1705號、公告9-5-5、大阪市、延原觀太郎) 容積小にして大なる遮斷能力を有する可銻斷路器を得んとする目的を以て可銻片外周に放射方向に噴氣路を有する外筒を設け銻斷瓦斯を外周に噴出せしむべくなしたる可銻斷路器。

電纜鉛被用電導性耐蝕塗料 (9年特許公告第1700號、公告9-5-4、東京市、京極高男) 從來の防蝕用塗料と異り遂に耐蝕性に富み殊に電解腐蝕には電導性ある爲に剝離等の恐れなく完全に防蝕の目的を達せしめんとする目的を以て純粹なる過酸化鉛の微粉末と2%以下のV化合物或は0.5乃至3%の二酸化Mn若くは本範圍内に於ける兩者の混合物を更に30%以下の亞麻仁油及20乃至50%のテルペン油にて泥狀に埽りたる電纜鉛被用電導性耐蝕塗料。

銅合金 (9年特許公告第1706號、公告9-5-4、大阪市、住友伸銅管株式會社) 耐蝕性殊に耐海水性大にして強硬なるCu合金を得んとする目的を以てZn 5乃至40%、Si 0.05乃至5%、Al 0.1乃至9%、As 0.01乃至0.10% Ag 0.05乃至1.00%及殘部Cuを含有する耐蝕性大にして強力なるCu合金。

硬度高きイリヂウム合金 (9年特許公告第1723號、公告9-5-7、仙臺市、金屬材料研究所長) 特許第97966號に於ける合金の特性を殆んど阻害せざるのみならずCu屬金屬との銲接を便ならしめ加工容易にして磨耗及腐蝕に耐ゆべき部分に有効に活用せらるべき合金を得る目的を以てMo 0.1乃至30% 殘餘量のIr又はイリドスミンを含有する硬度高きIr合金。

耐腐蝕性大なる管、棒、鋸製造用Cu合金 (9年特許公告第

1820號、公告9-5-11、神戸市、株式會社神戸製鋼所) Cr 0.2%乃至1.5%、Al 40%乃至70%、Ni及Fe各々0.2%乃至3.0%、Zn 0%乃至20.0%及殘餘Cuを含有する耐腐蝕性強大なる管、棒、鋸製造用合金。

特許拔萃

特許番號	名 稱	特許權者	公告拔萃本誌記載番號
105343	磁性合金	シームス・ウントハルヌケアクチエン・ゲゼルシャフト	第19年11號
105328	融着性合金	金屬材料研究所長	同年12號
105403	アルミニウム合金	ロールス・ロイス・リミテッド	同年11號
105363	金屬及合金の處理裝置	デオルヂユ・マウー	同年11號
105473	硫化粉鐵の團鑄製造方法	日本鑛業株式會社	
105481	煉炭の製造方法	日 置 雅 章	
105484	板狀線狀或は帶狀等の磁性材の處理法	アルゲマイネ・エレクトロリチアーツ・ゲゼルシャフト	
105493	金屬又は合金の表面に耐磨耗及耐腐蝕性を附與する方法	三菱造船株式會社	
105624	金屬の電氣的性質の改善方法	横濱工業株式會社	
105626	鋼塊鑄造用鑄型塗料	陸 軍 大 臣	第20年2號
105632	薄鋼板の焼入方法	櫻 澤 嘉 十 郎	第20年1號
105635	銅精煉方法	インターナショナル・スタンダード・エレクトリック・コーポレーション	第19年2號
105536	防 彈 鋼	株式會社神戸製鋼所	
105629	輕 合 金	磯 部 惠 太 郎	第19年11號
105582	煉炭乾溜裝置	佐々木佐七	
105612	煉炭製造方法	田 籠 寅 藏	
105616	懷爐又は寢爐用固形炭製造法	高 崎 新 三	
105583	アルミニウム粉末製造法	山 崎 惠 造	第19年6號